

報告要旨：経済危機の存在とエクイティプレミアム 複数危険資産の静学モデルによるアプローチ

筑波大学大学院 システム情報工学研究科 社会システム工学専攻
藤井陽一郎

平成21年4月23日(木)

Lucas (1978) の提案した代表的個人モデルにたいして、Mehra and Prescott (1985) は、モデルから得られるエクイティプレミアムが現実のそれを説明できないことを、エクイティプレミアム・パズルと呼んでいる。このパズルを解決するために、われわれはモデルに複数の危険資産を導入し、これらを平均株価を構成する個別銘柄と考える。さらに、これらの危険資産が倒産して配当が暴落する可能性があることを仮定する。このとき資産の倒産を分類して、すべての資産が同時に倒産する場合を「経済崩壊」、その一部が倒産する場合を「経済危機」と呼ぶ。過去の事実から経済崩壊は発生せず、経済危機のみが起こりうるとしたとき、複数の危険資産を仮定した方が、エクイティプレミアムの観測値をより良く説明できることを示す。